

交通サービス振興特別委員会記録

日時 令和5年1月11日（水）午前10時
場所 日田商工会館 議員サロン
出席者 担当副会頭 河津 龍治
委員長 小ヶ内聡行
副委員長 本田 哲
委員 由川 賢治、迫 靖豪、梶原 智敏、佐竹 享、角 弘起、
富安 裕子、加納 信男、武内 眞司、高田 英樹、田邊 康宏

事務局 樋口 恒成、桜木 幸恵、別府 詩帆

議題 1. 令和5年度委員会事業について
2. その他

議事内容

定刻となり開会。小ヶ内委員長、河津副会頭より挨拶がある。

1. 令和5年度委員会事業について

事務局より、今までの委員会の活動内容を説明。

交通サービス振興委員会については平成29年度（改選後）より観光と切り離されて新しくできた委員会であり、初年度、観光客向け（インバウンド含む）にタクシー会社の電話番号を分かりやすく表示した案内板をバス停に設置。平成30年度から2年ほど利用状況などを検証し一定の効果を得たということで、令和元年度で事業終了。

令和2年度 翌年度にひたはしり号に乗車し、検証を行う予定であったがコロナ流行により断念
令和3年度 年度末に「日田市地域公共交通網形成計画」について市との意見交換会を行った
(平成30年度から令和4年度の5か年計画として策定)

新しい計画については令和5年度から開始予定

本年度の事業内容について、委員より意見をいただく。

- ・交通結節点に案内が不足しているように感じる。インバウンドへの対応も必須
- ・以前から案内板の不足は問題となっているが、なかなか手を付けられていない
- ・この3年間で、観光客のデジタル機器の利用が多くなってきたと感じる、地図を作るより、デジタルに対応したものが良いのではないか
- ・市内は観光客向けの駐車場が分かりづらい
- ・デマンド交通の検証をやっている地域もあるが、実現にはまだ時間がかかりそう
- ・自転車の通行帯などの整備があまりできていないのではないか。ツールド九州など県が力を入れているので、自転車も交通の一つと捉えるのであれば、意見の具申も良いのではないか
- ・スマホを活用したものがあると良い
- ・タクシーの貸切で市内を回るといったものなどあれば集客につながるのではないか
- ・大任町の一億円のトイレのように何かアピールするものがあれば集客につながるのでは
- ・タクシーなどなかなかつかまらない。全体として人手不足を感じる
- ・市内の建物や庭など、説明付きで〇kmコースといったものがあれば良いのではないか
- ・人口は減り続けるので、インバウンドにお金を落としてもらうのが大切
- ・案内板の設置となると、市との協議が必要
- ・QRコードなどを活用して、案内板をつくってはどうか

等、多数の意見を頂いた。

委員長より、次年度の事業として市内観光地への多国籍案内板の設置に向けて検討をしていくこと、前年度より引き継いだ形で「日田市地域公共交通網形成計画」が策定され次第、市との意見交換を行いたい旨提案、委員の承認を得る。次年度の予算としては20万で要望を行うこととなった。

以上により、会議を終了した。

(11:00)